

人生百年時代

地域科学部発

令和7年度岐阜大学公開講座



受講料無料

対象／高校生以上

募集人数／100人

(応募者多数の場合は抽選)

の教養講座Ⅲ

2025.

10/4^土・11^土 13:30~17:00
(各講義90分)

会場 岐阜大学地域科学部101講義室

プログラム

牧 秀樹 教授「言語三昧:あっぱれ豊昇龍、日本語の起源、英語テストは3分で、ひらがな活用法」

和佐田裕昭 教授「地域科学部ではこんなこともやっています

— 化合物の毒性を予測するソフトウェアの開発 —

堀江 未央 助 教「民族」ってなんだろう?中国雲南省のフィールドから考える」

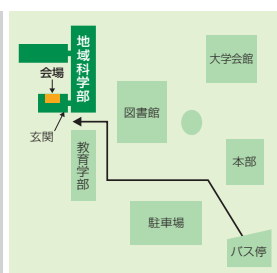
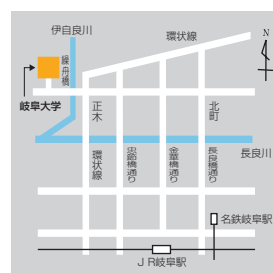
三谷 晋 准教授「森友文書改ざん事件から考える情報公開と職務命令」

申込方法 申込期限／9月12日(金)

受講を希望される方は、件名を「公開講座受講希望」とし、以下のメールアドレスへ、「住所」、「氏名(ふりがな)」、「年齢」、「電話番号」、「メールアドレス」、「車の来校の有無」、「受講予定日:両日又は4日のみ、11日のみ」をお送りください。

E-mail: chiiki@t.gifu-u.ac.jp

※お寄せいただいた個人情報は厳重に保管し、本講座に関する連絡以外の目的では一切使用致しません。



アクセス：JR岐阜駅、名鉄岐阜駅前から岐阜バスで約30分

申込先・問合せ先

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1

岐阜大学 地域科学部 総務係 Tel: 058-293-3002

E-mail: chiiki@t.gifu-u.ac.jp

主催／岐阜大学

企画／地域科学部

10月4日(土) 13:30~17:00

13:30 — 13:35 開講挨拶

13:35 — 15:05 90分 牧 秀樹 教授(言語学(生成文法・言語教育))



「言語三昧: あっぱれ豊昇龍、日本語の起源、英語テストは3分で、ひらがな活用法」

この講義では、私と研究室学生の婷婷(ティンティン・モンゴル語母語話者)が言葉に関する調査を4つに分けて、わかりやすく話します。①豊昇龍の日本語はなぜこうも流暢なのか②日本語は、どこから来たのか?③英語は?英語能力の測定、実は、3分で大丈夫です。Minimal English Test (MET)って知ってますか?④日本語能力の測定は?Minimal Japanese Test (MJT)って知ってますか?MJT、認知症予防としても使えます。③と④では、実際に、METとMJTをやってみます。どれだけできるかな?鉛筆持参。この講義の終わりにには、自分が本当は何者なのか、ちょっとわかったりするのかな。

15:05 — 15:10 質疑応答

15:10 — 15:20 休憩

15:20 — 16:50 90分 和佐田 裕昭 教授(量子化学)

橋本 智裕 准教授(計算化学) 澤田 敏彦 研究員(有機化学)



「地域科学部ではこんなこともやっています — 化合物の毒性を予測するソフトウェアの開発 —」

地域社会に売り出されるすべての製品は、地域の人々の健康を害するものであってはなりません。ではどうしたらよいか?地域科学部が用意した解答は「化合物の毒性の有る無しをあらかじめ予測すればいい」です。実に単純なことですよ。私たちは、地域科学部が持つ技術にもとづいてこれを実体化しました。それが構想からリリースまで数年間かけて開発された化合物毒性予測ソフトウェアです。今回は、このソフトウェアに関して実演も含めてお話します。こういった化合物の毒性を判定してみたいという場合は、実際に試してみることもできるかも知れませんよ。

16:50 — 17:00 質疑応答・閉講挨拶

10月11日(土) 13:30~17:00

13:30 — 13:35 開講挨拶

13:35 — 15:05 90分 堀江 未央 助教(文化人類学・地域研究)



「[民族]ってなんだろう?中国雲南省のフィールドから考える」

「民族の定義はなんですか?」そう問われたら、何と答えるでしょうか?同じ文化を共有する人々のまとまり?同一の地域に住んでいる(住んでいた)人々?同じ言葉を話している集団?それとも血がつながっている人たちのことでしょうか。日本に住む多くの人にとって、「民族」という言葉は自分の生活に直接関わるような身近なものではなく、どこか遠くの世界について使われる言葉かもしれません。文化人類学は、かつては「民族学」とも呼ばれ、フィールドワークを通して世界の様々な民族集団の暮らしを探究してきた学問です。この講座では、私がこれまで調査をしてきた中国雲南省のラフ族やその近隣に住む人々の例を切り口に、民族とはどのようなものか、考えてみたいと思います。

15:05 — 15:10 質疑応答

15:10 — 15:20 休憩

15:20 — 16:50 90分 三谷 晋 准教授(法学)

「森友文書改ざん事件から考える情報公開と職務命令」

2025年2月に大阪高等裁判所が、森友学園文書改ざん情報公開事件について、存否も示さずに不開示としてきた国の決定を取消す判決を出しました(国側は上告しなかったので確定)。今回、この森友学園情報公開事件を題材にして、情報公開の仕組みと意義、そしてその問題点や限界を一緒に考えたいと思います。また、この事件では、上司が改ざんを命じていたのであれば、その命令は違法な職務命令となります。こうした職場や上司の圧や命令に対して現場はどのように対応すべきかも併せて考えたいと思います。

16:50 — 17:00 質疑応答・閉講挨拶

※ 講師は諸事情により変更の可能性があります。

令和7年度岐阜大学公開講座
地域科学部発
人生百年時代の教養講座Ⅲ

